あんジョイプラン7 （第7次安城市高齢者福祉計画・第6期安城市介護保険事業計画）

第4章 施策・個別事業

1 支え合いによる福祉社会の形成

事業NO	1－1－1	福祉意識の啓発								
基本計画の位置づけ		1-1 福祉意識の共有化								
担当課		社会福祉課・社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
福祉まつり参加者数（人）		7,400	7,400	7,600	98.7%	98.7%	101.3%	7,500	7,500	7,500
≪事業評価≫										
平成27年度	7,400人の来場者がありました。病院祭と同時開催により、来場者が分散したことが考えられます。									
平成28年度	7,400人の来場者がありました。開会式直前までの少雨が来場に影響していたと考えられます。									
平成29年度	7,600人の来場者がありました。天候にも恵まれ、多くの市民に来場いただきました。									
総括	毎年、福祉まつりを開催し市民への福祉の啓発を行うことができました。									

事業NO	1－1－2	地域における研修会・勉強会の開催促進								
基本計画の位置づけ		1-1 福祉意識の共有化								
担当課		社会福祉課・社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
社協及び地区社協勉強会の開催回数（回）		68	50	104	151.1%	111.1%	231.1%	45	45	45
≪事業評価≫										
平成27年度	市社協、地区社協で地域住民向けに開催した勉強会、講演会、ボランティア講座等の開催回数は68回です。									
平成28年度	市社協、地区社協で地域住民向けに開催した勉強会、講演会、ボランティア講座等の開催回数は50回です。会議の開催回数が増えており、その中で行う形の勉強会が増えていることから、勉強会自体の数は減っています。									
平成29年度	市社協、地区社協で地域住民向けに開催した勉強会、講演会、ボランティア講座等の開催回数は104回です。またサロンで活躍するボランティアの養成の場を町内会単位で設けることにより、促進されました。									
総括	住民向けに開催した勉強会、講演会、ボランティア講座等の回数は、年々増加しており、福祉意識の共有化を図りました。									

事業NO	1－1－3	学校等における福祉学習の推進								
基本計画の位置づけ		1-1 福祉意識の共有化								
担当課		社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
相談支援件数（助成件数を含む）（件）		39	43	39	105.4%	113.2%	100.0%	37	38	39
≪事業評価≫										
平成27年度	相談件数と助成校をあわせて39件の相談支援を行いました。小中学校へ学校訪問によるPRに努めました。									
平成28年度	相談件数と助成校をあわせて43件の相談支援を行いました。小中学校へ学校訪問による助成のPRに努め、昨年度から5校増加しました。									
平成29年度	相談件数と助成校をあわせて39件の相談支援を行いました。小中学校へ学校訪問による助成のPRに努め、申請が昨年度から1件増加しましたが、事業の実施ができなかった学校もあり、助成実績は減少となりました。									
総括	相談支援件数は20件前後で推移しましたが、学校に福祉学習のPRを行い助成件数は増加しました。									

事業NO	1－1－4	広報紙による福祉意識の高揚
基本計画の位置づけ		1-1　福祉意識の共有化
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
社協広報紙発行回数（回数）	12.0	12.0	12.0	100.0%	100.0%	100.0%	12	12	12

≪事業評価≫

平成27年度	毎月15日に発行し、全戸に配布しました。
平成28年度	毎月15日に発行し、全戸に配布しました。
平成29年度	毎月15日に発行し、全戸に配布しました。そのうち7月号及び3月号をカラー化しました。
総括	カラー版は、掲載関係団体から大変好評で、社協事業のPRに効果的でした。

事業NO	1－2－1	地区社協の活動の支援
基本計画の位置づけ		1-2　住民の地域福祉活動への積極的な参加
担当課		社会福祉課・社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

平成27年度	市社協では、地区社協の活動を支援するため、8地区12人の職員を地区福祉センターに配置し、各種事業を地域の関係機関と連携して開催しました。
平成28年度	市社協では、地区社協の活動を支援するため、8地区14人の職員を地区福祉センターに配置し、各種事業を地域の関係機関と連携して開催しました。
平成29年度	市社協では、地区社協の活動を支援するため、8地区16人の職員を地区福祉センターに配置し、各種事業を地域の関係機関と連携して開催しました。

≪事業評価≫

平成27年度	職員を配置することで、地区社協の地域福祉推進計画を推進することができました。
平成28年度	職員の配置数を増やすことで、住民の地域福祉活動へより積極的な参加ができました。
平成29年度	職員の配置数を増やすことで、住民の地域福祉活動へより積極的な参加ができました。
総括	地区社協の職員を1地区2人体制にし、各種事業を地域の関係機関と連携して開催するなど、住民の地域福祉活動へより積極的な支援ができました。

事業NO	1－2－2	町内福祉委員会の活動の支援
基本計画の位置づけ		1-2　住民の地域福祉活動への積極的な参加
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

平成27年度	全ての町内会で町内福祉委員会設立の目途が立ち、平成28年4月1日に設立が完了します。
平成28年度	全ての町内会で町内福祉委員会設立ができました。
平成29年度	全ての町内会で町内福祉委員会を設立し、市内全域で継続支援しました。

≪事業評価≫

平成27年度	地域住民による地域福祉活動が市内全域で展開できるようになりました。
平成28年度	地域住民による地域福祉活動が市内全域でよりきめ細やかに展開できるようになりました。
平成29年度	地域住民による地域福祉活動の積極的な参加を市内全域で推進できました。
総括	平成28年度に全ての町内会に町内福祉委員会が設立でき、地域福祉活動への地域住民の積極的な参加を推進できました。

（1）あんジョイプラン7の進捗状況について　　【資料1－3】施策1

事業NO	1－3－1	地域見守り活動推進事業								
基本計画の位置づけ		1-3　住民による地域における見守りの推進								
担当課		社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
地域見守り活動モデル・推進事業実施福祉委員会数(累計)(委員会)		60	73	76	100.0%	112.3%	108.6%	60	65	70
≪事業評価≫										
平成27年度	今年度は12町内福祉委員会で実施できたため、前年度実施済みの48町内福祉委員会とあわせて、累計で60町内福祉委員会での実施となりました。									
平成28年度	今年度は13町内福祉委員会で実施できたため、前年度実施済みの60町内福祉委員会とあわせて、累計で73町内福祉委員会での実施となりました。									
平成29年度	今年度、3町内福祉委員会で新たに実施することにより、市内全地区で見守り活動が実施されました。									
総括	平成29年度に市内全域で見守り活動が実施され、地域見守り活動が推進されました。									

事業NO	1－3－2	サロンの開催支援								
基本計画の位置づけ		1-3　住民による地域における見守りの推進								
担当課		社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
月1回以上開催のサロン数		80	99	127	88.9%	110.0%	141.1%	90	90	90
≪事業評価≫										
平成27年度	町内福祉委員会や地域ボランティア等が月1回以上開催しているサロンの数は、80箇所あります。									
平成28年度	町内福祉委員会や地域ボランティア等が月1回以上開催しているサロンの数は99箇所あり、目標は達成しました。									
平成29年度	町内福祉委員会や地域ボランティア等が月1回以上開催しているサロンの数は127箇所あり、大幅に増加しました。									
総括	町内福祉委員会や地域ボランティア等が月1回以上開催しているサロンの数は、年々増加しており、サロンの場を利用しての見守りの推進が図れました。									

あんジョイプラン7 （第7次安城市高齢者福祉計画・第6期安城市介護保険事業計画）
第4章 施策・個別事業
2 健やかな生活の実現

事業NO	2－1－1	特定健康診査・特定保健指導
基本計画の位置づけ		2-1 健康づくり対策
担当課		国保年金課・健康推進課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
特定健康診査実施率 （%）	44.7	45.9		87.6%	83.5%		51	55	60
特定保健指導実施率 （%）	15.6	16.3		39.0%	32.6%		40	50	60

≪事業評価≫

平成27年度	(国保年金課)特定健康診査の受診促進のため、受診者に賞品が当たるキャンペーンを実施、また未受診者に受診勧奨通知を年2回送付しました。 健診等のPRを広報折込チラシ、市ウェブサイト、加入手続き者への窓口勧奨などで行いました。 (H27実績は、翌年11月頃の法定報告で確定)
平成28年度	(国保年金課) 特定健康診査の受診率向上のため、未受診者の年齢などによって内容を変えた受診勧奨通知を送付しました。 また、受診者に賞品が当たるキャンペーンを実施、広報折込チラシ・市ウェブサイトによる健診のPR、加入手続き者への窓口勧奨などを行いました。 (H28実績は、翌年11月頃の法定報告で確定) 【参考】平成27年度　特定健康診査・特定保健指導実績(安城市国民健康保険法定報告) 特定健康診査対象者数　26,994人　(内65～74歳　15,648人) 特定健康診査受診者数　12,066人　(内65～74歳　8,499人) 特定保健指導対象者数　1,131人　(内65～74歳　694人) 特定保健指導終了者数　176人　(内65～74歳　131人)
平成29年度	(国保年金課) 特定健康診査の受診率向上のため、未受診者の健診受診歴、生活習慣病受診の有無、生活改善意欲などから、タイプ別に内容を変えた受診勧奨通知を送付しました。 また、受診者に賞品が当たるキャンペーンを実施、広報折込チラシ・市ウェブサイトによる健診のPR、加入手続き者への窓口勧奨などを行いました。 (H29実績は、翌年11月頃の法定報告で確定) 【参考】平成28年度　特定健康診査・特定保健指導実績(安城市国民健康保険法定報告) 特定健康診査対象者数　25,928人　(内65～74歳　15,496人) 特定健康診査受診者数　11,908人　(内65～74歳　8,541人) 特定保健指導対象者数　1,080人　(内65～74歳　658人) 特定保健指導終了者数　176人　(内65～74歳　134人)
総括	タイプ別受診勧奨通知導入前の、平成26年度の受診率は前年比0．1%増でしたが、導入後の平成27年度は前年比2．6%増、平成28年度は1．2%増であることから、タイプ別受診勧奨通知の効果が高かったと思われます。平成30年度以降も継続して行っていきます。 また、受診者に商品が当たるキャンペーンは、経費以上の効果を感じられないことから、平成30年度は行わないこととしました。

第4章　施策・個別事業
２　健やかな生活の実現

事業NO	２－１－２	**健康診査事業**
基本計画の位置づけ		2-1 健康づくり対策
担当課		健康推進課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	各種がん検診受診率20.8％～56.3％（40歳以上） 平成27年度65歳以上受診者数：胃5,188人、大腸8,797人、肺7,879人、前立腺5,533人、子宮2,125人、乳2,190人、脳ドック266人、歯周疾患295人	
平成28年度	各種がん検診受診率19.9％～56.7％（40歳以上） 平成27年度65歳以上受診者数：胃5,128人、大腸9,296人、肺8,342人、前立腺5,824人、子宮2,141人、乳2,188人、脳ドック236人、歯周疾患342人	
平成29年度	各種がん検診受診率19．2％～57．1％（40歳以上） 平成29年度65歳以上受診者数：胃5,107人、大腸9,678人、肺8,997人、前立腺6,056人、子宮2,223人、乳2,345人、脳ドック216人、歯周病483人	
≪事業評価≫		
平成27年度	第2次健康日本21安城計画では、平成29年までに胃・肺・大腸がん検診の受診率を40％以上、子宮・乳がん検診の受診率を50％以上を目標にしています。各年度の目標値は設定していません。 平成27年度の脳ドック検診の定員は600人	
平成28年度	第2次健康日本21安城計画では、平成29年までに胃・肺・大腸がん検診の受診率を40％以上、子宮・乳がん検診の受診率を50％以上を目標にしています。各年度の目標値は設定していません。 平成28年度の脳ドック検診の定員は600人	
平成29年度	がん検診受診率は目標を達成することはできませんでしたが、受診人数は、胃がん検診を除き、すべてのがん検診で増加しました。歯周病検診については、個別通知を見直し、大幅に受診者が増加しました。 平成29年度の脳ドック検診の定員は600人	
総括	引き続き、検診を受けられる体制を継続し、啓発を行うなど健診受診を促していきます。	

事業NO	２－１－３	**健康相談**
基本計画の位置づけ		2-1 健康づくり対策
担当課		健康推進課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	イベント等で健康相談を実施する機会がありました。今後も相談機関の情報提供等を行い、相談しやすい環境づくりに努めていきます。	
平成28年度	前年度に引き続き、イベント等で健康相談を実施する機会を設けました。今後も相談機関の情報提供等を行い、相談しやすい環境づくりに努めていきます。	
平成29年度	今年度もイベント等で健康相談を実施する機会を設けました。	
総括	今後も相談機関の情報提供等を行い、相談しやすい環境づくりに努めていきます。	

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	
健康相談人数（人）	1188	809	910	数値目標なし
食事相談人数（人）	17	16	14	

第4章　施策・個別事業
２　健やかな生活の実現

事業NO	２－１－４	健康手帳交付
基本計画の位置づけ		2-1 健康づくり対策
担当課		健康推進課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	
健康手帳の交付数（冊）	885	726	284	数値目標なし

≪事業評価≫

平成27年度	保健センターでの事業を中心に、効果的な活用方法を啓発しながら、自己管理を促す媒体として配布しました。
平成28年度	保健センターでの事業を中心に、効果的な活用方法を啓発しながら、自己管理を促す媒体として配布しました。
平成29年度	町内会体操教室業務が社会福祉協議会へ移管したため、交付数が減少しました。一方、様式をホームページからダウンロードできるようにしました。引き続き、効果的な活用方法を啓発しながら、自己管理を促す媒体として冊子も配布していきます。
総括	冊子自体の交付数は減少しましたが、自己管理を促す媒体として、引き続きホームページへの様式掲載と冊子の配布を行っていきます。

事業NO	２－１－５	健康情報の提供（生活習慣病予防）
基本計画の位置づけ		2-1 健康づくり対策
担当課		健康推進課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	
市民健康講座（人）	451	415	359	数値目標なし

≪事業評価≫

平成27年度	市民健康講座では様々な講師により、幅広いテーマで開催しました。また、地区社協だよりでも記事を掲載し、啓発をしました。
平成28年度	保健センター改修工事のため、開催できた回数が減りました。開催回数の減少のため、参加人数も減っています。
平成29年度	回数を従来と同回数に戻し実施しましたが、参加人数が減少しました。禁煙など一部の対象に関係するテーマを（対象が限局する）盛り込んだことが要因のひとつにあると考えます。
総括	広めるべき知識や市民ニーズを組み入れながら、引き続き幅広いテーマで開催していきます。

第4章　施策・個別事業
２　健やかな生活の実現

事業NO	２－１－６	食生活普及事業
基本計画の位置づけ		2-1 健康づくり対策
担当課		健康推進課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	シニアの栄養教室：開催回数12回　参加者数：246人	
平成28年度	シニアの栄養教室：開催回数14回　参加者数：348人	
平成29年度	シニアの栄養教室：開催回数12回　参加者数：303人	
≪事業評価≫		
平成27年度	ヘルスメイトと協議し、シニア男性→シニア世代全般へ参加対象者を拡大しました。また、調理実習と、試食実習の2種類の講座を設定して行いました。	
平成28年度	PR方法を拡大し、参加者数が増加しました。講話内容をわかりやすくするために、掲示物の構成や食事チェックリストの活用を行いました。	
平成29年度	平成27年度に比べて2年続けて1回当たりの受講者数を増やすことができており、効率的に実施ができています。	
総括	継続して地域での実施ができています。引き続き、ヘルスメイトと協議しながら効果的な教室を開催していきます。	

事業NO	２－２－１	介護予防事業対象者把握事業
基本計画の位置づけ		2-2　介護予防事業
担当課		高齢福祉課・社会福祉協議会
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	(高齢福祉課)チェックリストの一斉配布は行わず、昨年度参加できなかった人を対象に実施しました。 (社会福祉協議会)地域包括支援センターで前年度の二次予防事業対象者等に対し、郵送による「基本チェックリスト」調査を実施し対象者を把握しました。	
平成28年度	(高齢福祉課)二次予防事業縮小に伴い、積極的な対象者把握はせず、地域包括支援センターの地域の実態把握や総合相談の中から把握していきました。	
平成29年度	介護予防・日常生活支援総合事業として地域包括支援センターにおいて基本チェックリストを398件活用しました。	
≪事業評価≫		
平成27年度	(社会福祉協議会)二次予防事業対象者を把握した結果、119人を教室等への参加につなげることができました。	
平成28年度	(高齢福祉課)二次予防事業縮小のため、地域包括支援センターでは積極的な対象者把握は行いませんでした。(二次予防参加2人)	
平成29年度	各地域包括支援センターにおいて相談や実態把握の場などで基本チェックリストを活用し早期の対応が望ましい高齢者の把握に努めました。	
総括	今後も継続して実施します。	

第4章　施策・個別事業
２　健やかな生活の実現

事業NO	２－２－２	**介護予防普及啓発事業**
基本計画の位置づけ		2-2　介護予防事業
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実 施 状 況			計 画 目 標
	H27	H28	H29	
介護予防健康体操(福祉センター)講座数（回）	13	15	15	数値目標なし
講座開催数（回）	302	357	373	
受講者数（人）	9,436	9,673	9,385	

≪事業評価≫

平成27年度	7つの福祉センターで、「頭もからだもスッキリ体夢」を、6つの福祉センターで、「からだ☆しゃっきり体夢」を月2回ずつ開催しています。
平成28年度	4月から明祥プラザが加わり、スッキリ体夢が8か所の福祉センターで、しゃっきり体夢が7か所の福祉センターで月2回ずつ開催しました。
平成29年度	7つの福祉センターで、「スッキリ☆しゃっきり健康体操」立位体操・座位体操を、中部福祉センターで座位体操を月2回ずつ開催しました。
総括	8か所の福祉センターにおいて、継続して体操教室を開催しました。

事業NO	２－２－３	**介護予防健康教育**
基本計画の位置づけ		2-2　介護予防事業
担当課		健康推進課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実 施 状 況			計 画 目 標
	H27	H28	H29	
介護予防健康教育開催回数（回）	166	147	138	数値目標なし
参加延人数（回）	6,725	6,221	5,889	

≪事業評価≫

平成27年度	講話内容をよりよくするために、引き続き内容の見直し等の検討をしていきます。
平成28年度	講話内容をよりよくするために、引き続き内容の見直し等の検討をしていきます。
平成29年度	新しい情報が提供できるよう、平成30年度に向け、講話内容を一新しました。
総括	たくさんの老人クラブ等に実施できており、今後も広めるべき知識や市民ニーズを取り入れながら実施していきます。

第4章　施策・個別事業
２　健やかな生活の実現

事業NO	２－２－４	町内会健康体操教室
基本計画の位置づけ		2-2　介護予防事業
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	
町内会健康体操教室（町内会等）開催か所（か所）	40	50	52	数値目標なし
開催回数（回）	443	572	566	
参加延人数（人）	6,647	9,070	9,778	

≪事業評価≫

平成27年度	社会福祉協議会と協力し、町内会との調整を進めて今年度は10会場増やすことができました。地区担当保健師と地区社会福祉協議会で協力しながら、町内会の意向を確認し体操教室の実施地区の拡大を進めてまいります。
平成28年度	H28年度も10会場増やすことができました。H29年度から社会福祉協議会に運営主体を移行するため、担当者間での打ち合わせを行いました。また、講師である健康づくりリーダーや教室従事スタッフ、社協、高齢福祉課との担当者会議を例年の1回から6回に増やし開催しました。
平成29年度	住民主体の運営に向けて、町内会等と協議しました。職員による受付、健康相談、会場の片付け等を廃止できるよう関係機関との調整を図りました。新規4会場においてお試しで体操教室を実施しました。
総括	体操教室の拡充に向けて会場数を増やし、参加者を増やすことができました。

事業NO	２－２－５	介護予防ケアマネジメント
基本計画の位置づけ		2-2　介護予防事業
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

平成27年度	(高齢福祉課)昨年度の二次予防事業対象者の中で、介護予防二次予防事業へ参加する高齢者について、訪問や電話等で状況を確認し、本人の心身状況や生活にあった計画の作成をしました。 (社会福祉協議会)介護予防サービス(予防給付)のための介護予防居宅介護支援事業を、5つの地域包括支援センターで行い計画作成等を行いました。
平成28年度	(高齢福祉課)二次予防事業縮小に伴い、積極的な働きかけは行いませんでした。二次予防対象者のケアプランは3件。要支援者のケアプランは888件(暫定・委託含む)
平成29年度	介護予防・日常生活支援総合事業として、要支援認定者の介護予防プランを毎月約960件、総合事業対象者月平均約170件作成しました。

≪事業評価≫

平成27年度	(高齢福祉課)二次予防事業終了後の地域活動への参加を促すことが難しく、地域で介護予防に取組が必要です。 (社会福祉協議会)5つの地域包括支援センターで、介護予防認定者と契約(817件)をしました。在宅介護支援センターから包括支援センターへの移行時期であり、数値に変動があります。
平成28年度	(高齢福祉課)二次予防事業は縮小のため減少しています。7つの地域包括支援センターで契約し、昨年度より71件増加しています。
平成29年度	8つの地域包括支援センターで介護予防ケアマネジメントを行い介護予防プラン等を作成しています。
総括	総合事業対象者のケママネジメント件数は徐々に増加しています。

第４章　施策・個別事業
２　健やかな生活の実現

事業NO	２－２－６	訪問型・通所型介護予防事業
基本計画の位置づけ		2-2　介護予防事業
担当課		高齢福祉課・健康推進課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	(高齢福祉課)平成29年度に総合事業が開始されるため、本事業は縮小。平成27年度は通所型介護予防事業のみ実施しました。 (健康推進課)マメに暮らそう会(総合型)　8回×8クール開催　参加実人数　73人　延べ人数559人 楽らく運動教室(施設型運動器機能向上)　14回×4クール　参加実人数　43人　延べ人数488人	
平成28年度	(高齢福祉課)二次予防事業縮小し、楽らく運動教室のみ実施しました。(参加者2名)	
平成29年度	介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、短期集中型介護予防サービス事業を実施しました。参加人数　実人数42人　延人数733人	
≪事業評価≫		
平成27年度	(高齢福祉課)平成28年度で終了予定の事業です。 (健康推進課)総合事業移行に向け、事業の方向性について関係部署と調整を行いました。	
平成28年度	(高齢福祉課)平成28年度で事業終了となります。	
平成29年度	介護予防・日常生活支援総合事業のサービス事業として訪問と通所を組み合わせて利用できる短期集中型介護予防サービス事業を新たに開始しました。	
総括	今後も継続して実施します。	

あんジョイプラン7 （第7次安城市高齢者福祉計画・第6期安城市介護保険事業計画）
第4章 施策・個別事業
3 生きがいある生活の支援

事業NO	3－1－1	高齢者教室
基本計画の位置づけ		3-1 生涯学習
担当課		生涯学習課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
高齢者教室の実施回数（回）	108	108	109	91.5%	91.5%	92.4%	118	118	118

≪事業評価≫

平成27年度	多彩な分野の講座をほぼ計画目標どおり実施することができました。 また、各公民館10回程度の連続講座で、受講生同士のつながりをつくることができました。 平成27年度から2講座を統合して1講座にしたため、10回減りました。
平成28年度	多彩な分野の講座をほぼ計画目標どおり実施することができました。 また、各公民館10回程度の連続講座で、受講生同士のつながりをつくることができました。
平成29年度	多彩な分野の講座をほぼ計画目標どおり実施することができました。 また、各公民館10回程度の連続講座で、受講生同士のつながりをつくることができました。
総括	高齢者が社会適応力と教養を高め、積極的に生きがいを求めることができるよう学習機会を提供するとともに、講座を通じて同世代での交流をもつことができました。

事業NO	3－1－2	シルバーカレッジ
基本計画の位置づけ		3-1 生涯学習
担当課		生涯学習課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
シルバーカレッジのクラス数（ｸﾗｽ）	2	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	2	2	2

≪事業評価≫

平成27年度	多彩な講座により、自己啓発及び新しい仲間づくりの場となり、卒業後においても一部では活動を継続しています。また、市の事業やデンパークでのイベントにボランティアとして参加し、社会貢献活動を続けています。
平成28年度	多彩な講座により、自己啓発及び新しい仲間づくりの場となり、卒業後においても一部では活動を継続しています。また、市の事業やデンパークでのイベントにボランティアとして参加し、社会貢献活動を続けています。
平成29年度	多彩な講座により、自己啓発及び新しい仲間づくりの場となり、卒業後においても一部では活動を継続しています。また、市の事業やデンパークでのイベントにボランティアとして参加し、社会貢献活動を続けています。
総括	2年間を通じた受講により、自己啓発と仲間づくりができ、卒業後も同窓生として活動を継続し、ボランティア活動などの社会貢献活動と親睦会の開催などシルバー世代が生きがいをもてる活動につながっています。

第4章　施策・個別事業
3　生きがいある生活の支援

事業NO	3－1－3	地域における高齢者スポーツの推進
基本計画の位置づけ		3-1　生涯学習
担当課		スポーツ課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
ゲートボール協会会員数（人）	131	120	104	74.9%	68.6%	59.4%	175	175	175
グラウンド・ゴルフ協会会員数（人）	303	310	281	98.4%	100.6%	91.2%	308	308	308
高齢者向けスクールの参加者数(人)	156	133	89	120.0%	102.3%	68.5%	130	130	130
歩け・ランニング運動の参加者数(人)	7,249	7,208	7,183	93.2%	92.6%	92.3%	7,780	7,780	7,780
おはよう!ふれあいラジオ体操会の参加者数(人)	10,407	10,268	9,685	99.1%	96.9%	90.5%	10,500	10,600	10,700

≪事業評価≫

平成27年度	協会の会員数は若干減少しています。歩けランニング運動への参加者も減少していますが、自宅から比較的近い場所で参加できるメリットは大きいと思います。夏休み期間中に開催しているラジオ体操会は、町内会・子ども会からの申請件数はほぼ横ばいですが、だいぶ定着してきています。高齢者向けのスクールは、参加者が増加してきており、かなりの関心の高さを感じています。
平成28年度	一部協会の会員数の減少が目立ちますが、総じてほぼ横ばい状態であると認識しています。歩けランニング運動など参加者が固定化され、新規開拓がされていないイメージが強いと思われます。いかに関心ない人を振り向かせるかPR方法等を研究する必要性を感じました。
平成29年度	29年度は体育館改修工事のため、スクールの会場が変更になり、参加制限をしたので数が減りました。協会会員も減少傾向にありますが、積極的にPRに努め、体を動かすことの楽しさと大切さを伝えていきます。
総括	協会会員も減少傾向にありますが、積極的にPRに努め、体を動かすことの楽しさと大切さについて継続して周知していきます。

事業NO	3－1－4	「農」のある暮らし体験事業
基本計画の位置づけ		3-1　生涯学習
担当課		農務課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
野菜作り入門コース実施回数（回）	2	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	2	2	2

≪事業評価≫

平成27年度	計画通り実施しました。2回でのべ60人の参加があり、ほぼすべての方に修了証を渡すことができました。
平成28年度	アグリライフ支援センターにおいて、野菜の植え付けから収穫までの入門コースを春夏・秋冬の計2回実施し、合計50名が受講しました。今年度は受講者全員が修了しました。
平成29年度	アグリライフ支援センターにおいて、野菜の植付・収穫、農機具・農薬の使い方等、農業の基礎を学ぶ入門コースを春夏・秋冬の計2回実施し、延べ55名が受講しました。受講生のうち延べ54名に修了証を授与しました。
総括	当初の予定どおり体験事業を実施しました。

第4章　施策・個別事業
3　生きがいある生活の支援

事業NO	3－1－5	福祉センター講座
基本計画の位置づけ		3-1　生涯学習
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
福祉センター講座数（講座）	65	54	49	127.5%	103.8%	94.2%	51	52	52
福祉センターの利用者講座受講者数（人）	10,362	9,610	9,946	73.5%	67.7%	69.6%	14,100	14,200	14,300
福祉センターの利用者数(人)	448,169	448,984	452,773	91.5%	91.6%	92.4%	490,000	490,000	490,000

≪事業評価≫

平成27年度	教養系や趣味系の講座に加え、介護予防を目的とした各種講座をすべての福祉センターで開設しています。
平成28年度	教養系や趣味系の講座に加え、介護予防を目的とした各種講座、ボランティア養成など、福祉センターのすべてで講座を開設しています。
平成29年度	教養系や趣味系の講座に加え、介護予防を目的とした各種講座、ボランティア養成など、福祉センターのすべてで講座を開設しています。また、小物づくりや歌などのサロンも開催しています。
総括	教養系や趣味系の講座に加え、介護予防を目的とした各種講座、ボランティア養成など、福祉センターのすべてで講座を開設しています。また、小物づくりや歌など参加しやすい教養や趣味を取り入れたサロンも開催しています。

事業NO	3－2－1	ボランティアセンター事業
基本計画の位置づけ		3-2　社会参加
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
社協ボランティアセンター登録団体数（年度末）	225	239	252	117.2%	123.2%	128.6%	192	194	196

≪事業評価≫

平成27年度	225件の団体登録がありました。マッチング交流会や地域サロンなどを通じた情報収集に努めました。
平成28年度	28年度から市民活動センターと同時登録できるようにしたことで、新規登録の増加につながりました。
平成29年度	市民活動センターとの同時登録の影響や新規に立ち上がる団体もあり、登録の増加につながった。
総括	登録団体の増加により、ボランティア活動を始めたい方に紹介できるボランティア団体を増やすことができた。

事業NO	3－2－2	市民活動センター事業
基本計画の位置づけ		3-2　社会参加
担当課		市民協働課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
市民活動センター団体登録数（団体）	339	385	410	98.5%	109.4%	113.9%	344	352	360

≪事業評価≫

平成27年度	社会福祉協議会ボランティアセンターと団体登録申請が同時に出来るよう、団体登録申請書書式の見直しを実施しました。
平成28年度	前年度末に団体登録申請手続の見直しを行ったことと、市民活動センタースタッフへも改めて登録団体数を増やすことを意識させたことにより、団体数の増加につながった。
平成29年度	登録団体数が増えるよう市民活動センターと緊密に連絡をとり、センタースタッフにも登録団体数を増やすことを意識させたことにより、団体数の増加につながった。
総括	高齢者の社会参加、団塊の世代が高齢期を迎え、多様な社会参加の機会が求められている現状と課題に対し、市民活動センターにおける情報提供、市民活動やボランティア活動等の機会提供の推進により、団体登録数の増加を図ることができた。

第4章　施策・個別事業
3　生きがいある生活の支援

事業NO	3－2－3	老人クラブの育成
基本計画の位置づけ		3-2　社会参加
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
老人クラブ数（団体）	99	101	99	97.1%	98.1%	95.2%	102	103	104
会員数（人）	11,315	11,301	10,956	96.7%	94.2%	89.1%	11,700	12,000	12,300

≪事業評価≫

平成27年度	高齢者の数は増加していますが、会員数は横ばい状態となっています。平成28年度には休会中の3クラブが活動再開予定です。
平成28年度	高齢者の数は増加していますが、会員数は横ばい状態となっています。平成28年度は2クラブが活動再開しました。
平成29年度	高齢者の数は増加していますが、会員数は横ばい状態となっています。平成29年度は2クラブが統合されました。
総括	高齢者の数は増加していますが、老人クラブ数、会員数は横ばい状態となっています。今後も引き続き老人クラブの育成につとめていきます。

事業NO	3－2－4	高齢者社会参加促進事業
基本計画の位置づけ		3-2　社会参加
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
あんくるバス後期高齢者月平均利用者数（人）	11,154	12,426	15,019	111.5%	118.3%	136.5%	10,000	10,500	11,000

≪事業評価≫

平成27年度	昨年度よりやや利用者数が減少しています。利用に関する周知が必要です。
平成28年度	高齢者の増加に伴い利用者数がやや増加しています。まだ利用に関する周知が必要です。
平成29年度	高齢者の増加に伴い利用者が増加しています。
総括	高齢者の増加に伴い利用者が増加しています。高齢者の社会参加のきっかけとなるように今後も継続していきます。

事業NO	3－3－1	シルバー人材センター事業の支援・雇用の場の確保
基本計画の位置づけ		3-3　就労支援
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
シルバー人材センター登録会員数（人）	975	979	1,001	97.5%	93.2%	91.0%	1,000	1,050	1,100

≪事業評価≫

平成27年度	目標数には届きませんでしたが、ここ数年は毎年数十人程度、会員数が順調に伸びており、平成26年度対比においても2．4％増加しました。
平成28年度	目標数には届きませんでしたが、会員募集の推進及び就業機会拡大のためPR活動の実施により、前年対比では微増しました。ここ数年でみると会員数は、毎年数十人程度、順調に伸びています。
平成29年度	市の広報、出張入会説明会の開催等により、事業内容のPRや会員募集を行った結果、目標数値を達成できなかったものの、登録会員数は1,000人を超え順調に増加しました。
総括	高年齢者就業機会確保事業への補助により、きめ細かなサービスの充実と事業支援を行い、会員数の増加に繋げることができました。今後も、高齢者の就労機会を拡大するため、様々な会員拡充策の実施により事業拡大及び就業開拓が図られるよう支援を継続します。

あんジョイプラン7 （第7次安城市高齢者福祉計画・第6期安城市介護保険事業計画）

第4章 施策・個別事業

4 安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－1－1	高齢者軽度生活援助事業
基本計画の位置づけ		4-1 在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
高齢者軽度生活援助事業 月延利用者数(人)	916	1013	1132	115.9%	126.6%	139.8%	790	800	810

≪事業評価≫

平成27年度	ひとり暮らし、高齢者世帯の増加に伴い、利用者が増えています。
平成28年度	ひとり暮らし、高齢者世帯の増加に伴い、利用者が増えています。
平成29年度	ひとり暮らし、高齢者世帯の増加に伴い、利用者が増えています。
総括	ひとり暮らし、高齢者世帯の増加に伴い、利用者が毎年増えています。 今後も事業を継続します。

事業NO	4－1－2	高齢者用杖の給付事業
基本計画の位置づけ		4-1 在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
高齢者用杖の給付本数(本)	765	797	748	102.0%	106.3%	99.7%	750	750	750

≪事業評価≫

平成27年度	歩行に支障のある高齢者へのサービスとして利用頻度も高いため、継続します。
平成28年度	歩行に支障のある高齢者へのサービスとして利用頻度も高いため、継続します。
平成29年度	歩行に支障のある高齢者へのサービスとして利用頻度も高いため、継続します。
総括	29年度を除き、毎年計画目標値を達成しています。歩行に支障のある高齢者へのサービスとして利用頻度も高いため、事業を継続します。

事業NO	4－1－3	日常生活用具給付貸与事業
基本計画の位置づけ		4-1 在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
火災警報器給付世帯数(世帯)	14	11	35	28.0%	22.0%	70.0%	50	50	50
自動消火器給付数(台)	66	42	84	55.0%	35.0%	70.0%	120	120	120
介護支援ベッド貸与数(台)	20	20	22	57.1%	50.0%	48.9%	35	40	45

≪事業評価≫

平成27年度	利用者が減っていますが、ひとり暮らし高齢者の安全確保のために継続します。ベッドの貸与についても、身体状況と経済状況から必要とされているため継続します。
平成28年度	利用者が減っていますが、ひとり暮らし高齢者の安全確保のために継続します。ベッドの貸与についても、身体状況と経済状況から必要とされているため継続します。
平成29年度	今年度は利用者が増えました。今後もひとり暮らし高齢者の安全確保のために継続します。 ベッドの貸与についても、身体状況と経済状況から必要とされているため継続します。
総括	計画目標を達成することはできませんでしたが、利用者はおおむね増加傾向にあります。事業は継続しますが、必要な方に必要な給付ができるよう、利用要件等を見直します。

第4章　施策・個別事業
4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－1－4	リフォームヘルパー派遣事業
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
リフォームヘルパー派遣回数（回）	15	25	17	50.0%	83.3%	56.7%	30	30	30

≪事業評価≫

平成27年度	利用件数は近年大きく変わりません。サービスの周知を図り、暮らしやすい改築の相談に応じるため事業を継続していきます。
平成28年度	目標数には届きませんでしたが、前年度より大幅に実績をあげることができました。
平成29年度	目標数には届きませんでしたが、サービスの周知を図り、暮らしやすい改築の相談に応じるため事業を継続していきます。
総括	サービスの周知を図ることが課題ですが、高齢者が暮らしやすい改築の相談に応じるため、事業を継続していきます。

事業NO	4－1－5	人にやさしい住宅リフォーム費助成事業
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
住宅リフォーム費助成実施件数（件）	169	162	174	84.5%	81.0%	87.0%	200	200	200

≪事業評価≫

平成27年度	事業者向けの研修会を行い、サービスに対する理解とサービスの利用につながりましたが、目標件数には届きませんでした。
平成28年度	事業者向けの研修会を行い、サービスに対する理解とサービスの利用につながりましたが、目標件数には届きませんでした。
平成29年度	事業者向けの研修会を行い、サービスに対する理解とサービスの利用につながりましたが、目標件数には届きませんでした。
総括	目標件数には届いていませんが、件数は微増となってます。今後も事業として引き続き行っていきます。

事業NO	4－1－6	寝具乾燥事業
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
寝具乾燥事業の利用者数（人）	80	76	70	76.2%	69.1%	60.9%	105	110	115

≪事業評価≫

平成27年度	目標数値を達成できませんでした。今後もPRに努めます。
平成28年度	目標数値を達成できませんでした。今後もPRに努めます。
平成29年度	目標数値を達成できませんでした。今後もPRに努めます。
総括	新規の利用者があるものの、利用をやめていく方もおり、年々減少傾向にあります。今後も、PRに努めます。

第4章　施策・個別事業

4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－1－7	訪問理容サービス事業								
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス								
担当課		高齢福祉課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
訪問理容サービス事業　利用者数(人)		47	46	45	134.3%	131.4%	128.6%	35	35	35
≪事業評価≫										
平成27年度	目標は達成しています。今後も啓発に努めます。									
平成28年度	目標は達成しています。今後も啓発に努めます。									
平成29年度	目標は達成しています。今後も啓発に努めます。									
総括	在宅介護を受けているねたきりの高齢者にとって必要なサービスと考えますので、利用につながるよう今後も啓発に努めます。									

事業NO	4－1－8	ひとり暮らし高齢者世帯等へのホームヘルプサービス
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	利用申請はありませんでした。	
平成28年度	利用申請はありませんでした。	
平成29年度	利用申請はありませんでした。	
≪事業評価≫		
平成27年度	災害時等緊急時における利用を想定しているため、近年の利用実績はありませんでした。今後は事業の実施方法について検討していきます。	
平成28年度	災害時等緊急時における利用を想定しているため、近年の利用実績はありませんでした。今後は事業の実施方法について検討していきます。	
平成29年度	災害時等緊急時における利用を想定しているため、近年の利用実績はありませんでした。今後は事業の実施方法について検討していきます。	
総括	災害時における利用を想定していたため、近年は利用実績がない状況です。今後、本事業の実施方法について検討していきます。	

事業NO	4－1－9	高齢者外出支援サービス事業								
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス								
担当課		高齢福祉課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
高齢者外出支援サービス事業　利用者数(人)		563	600	671	106.2%	109.1%	117.7%	530	550	570
≪事業評価≫										
平成27年度	高齢化、要介護認定者の増加により利用者数も増加しています。									
平成28年度	高齢化、要介護認定者の増加により利用者数も増加しています。									
平成29年度	高齢化、要介護認定者の増加により利用者数も増加しています。									
総括	高齢化、要介護認定者の増加により、年々利用者数が増加しており、計画目標を上回る利用がありました。今後も事業を継続していきます。									

第4章　施策・個別事業
4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－1－10	車いす移送車サルビア号貸出事業								
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス								
担当課		社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実　施　状　況			計　画　目　標					
		H27	H28	H29	数値目標なし					
車いす移送車貸出件数		547	626	621						
≪事業評価≫										
平成27年度	普通車タイプを総合福祉センターで2台、軽自動車タイプを地区福祉センターで各1台ずつ必要とする方に貸し出しています。									
平成28年度	普通車タイプを総合福祉センターで2台、軽自動車タイプを地区福祉センターで各1台ずつ必要とする方に貸し出しています。昨年度に比べ、79件増加しました。									
平成29年度	普通車タイプを総合福祉センターで2台、軽自動車タイプを地区福祉センターで各1台ずつ必要とする方に貸し出しています。									
総括	貸出数は毎年安定しており、在宅生活支援サービスとして必要とされています。									

事業NO	4－1－11	車いす貸出事業								
基本計画の位置づけ		4-1　在宅生活支援サービス								
担当課		社会福祉協議会								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実　施　状　況			計　画　目　標					
		H27	H28	H29	数値目標なし					
車いす貸出件数		558	600	622						
≪事業評価≫										
平成27年度	各福祉センター、社会福祉会館で車いすを必要とする方に、無料で貸し出しています。									
平成28年度	各福祉センター、社会福祉会館で車いすを必要とする方に、無料で貸し出しています。昨年度に比べ42件増加しました。									
平成29年度	各福祉センター、社会福祉会館で車いすを必要とする方に、無料で貸し出しています。昨年度に比べ22件増加しました。									
総括	貸出数は年々、増えており、在宅生活支援サービスとして必要とされています。									

事業NO	4－2－1	在宅ねたきり高齢者等介護人手当事業								
基本計画の位置づけ		4-2　家族介護支援								
担当課		高齢福祉課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計　画　目　標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
受給者数(人)		360	400	415	94.7%	102.6%	103.8%	380	390	400
≪事業評価≫										
平成27年度	高齢化、要介護者の増加に伴い、年々実績は増加しています									
平成28年度	高齢化、要介護者の増加に伴い、年々実績は増加しており、今年度は目標人数を達成しました。									
平成29年度	高齢化、要介護者の増加に伴い、年々実績は増加しており、今年度は目標人数を達成しました。									
総括	年々実績は増加しており、今後も事業を継続してきます。									

第4章　施策・個別事業
4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－2－2	おむつ費用助成事業
4-2　介護家族支援		4-2　家族介護支援
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
受給者数(人)	339	384	397	96.9%	106.7%	107.3%	350	360	370

≪事業評価≫

平成27年度	介護人手当受給者の増加に伴い、年々実績は増加しています。
平成28年度	高齢化、要介護者の増加に伴い、年々実績は増加しており、今年度は目標人数を達成しました。
平成29年度	高齢化、要介護者の増加に伴い、年々実績は増加しており、今年度は目標人数を達成しました。
総括	年々実績は増加しており、3年間を通して概ね目標人数を達成しております。今後も事業を継続してきます。

事業NO	4－2－3	介護者のつどい（家族介護支援事業）
基本計画の位置づけ		4-2　家族介護支援
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
市社会福祉協議会主催（回）	1	1	1	100.0%	100.0%	100.0%	1	1	1
地区社会福祉協議会主催（地区）	7	6	7	87.5%	75.0%	87.5%	8	8	8

≪事業評価≫

平成27年度	市社協主催のリフレッシュツアーを年1回、7地区社協で介護者のつどいを開催しています。
平成28年度	市社協主催のリフレッシュツアーを年1回、6地区社協で延べ50回、介護者のつどいを開催しています。
平成29年度	市社協開催のリフレッシュツアーを年1回、7地区社協で延べ44回介護者のつどいを開催しています。
総括	介護者がつどう場を定期的に開催することで、仲間づくりや介護のことを学ぶ機会となり、介護者の介護負担の軽減、リフレッシュにつながっています。

第4章　施策・個別事業
4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－2－4	介護者支援事業（介護教室の開催）
基本計画の位置づけ		4-2　家族介護支援
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
地区社会福祉協議会主催（地区）	4	3	3	80.0%	60.0%	60.0%	5	5	5
福祉委員会主催(町内会)	36	40	36	62.1%	67.8%	60.0%	58	59	60

≪事業評価≫

平成27年度	ハートフルケアセミナーを、4地区社協と36町内福祉委員会で開催しました。（主催者の愛知県市町村振興協会から回数削減の依頼があり、回数が減になりました）
平成28年度	ハートフルケアセミナーを、3地区社協と40町内福祉委員会で延べ78回開催しました。（主催者の愛知県市町村振興協会から回数削減の依頼があり、回数が減になりました）
平成29年度	ハートフルケアセミナーを、地区社協主催（3回）と町内福祉委員会主催（36回）で延べ75回開催しました。（主催者の愛知県市町村振興協会から回数削減の依頼があり、回数が減になりました）
総括	介護支援のために、在宅で介護している家族にとっての重要な学習の場となっています。

事業NO	4－3－1	徘徊高齢者家族支援事業
基本計画の位置づけ		4-3　認知症高齢者支援
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
利用者数(人)	22	27	27	146.7%	180.0%	180.0%	15	15	15

≪事業評価≫

平成27年度	目標実績を達成しています。認知症高齢者は増加しているので、事業を継続し、周知に努めます。
平成28年度	目標実績を達成しています。認知症高齢者は増加しているので、事業を継続し、周知に努めます。
平成29年度	目標実績を達成しています。認知症高齢者は増加しているので、事業を継続し、周知に努めます。
総括	毎年、目標実績を達成しました。認知症高齢者は増加しているので、事業を継続し、周知に努めます。

第4章　施策・個別事業

4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－3－2	認知症サポーターの養成
基本計画の位置づけ		4-3　認知症高齢者支援
担当課		高齢福祉課・社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
市主催開催回数(回)	21	17	18	210.0%	170.0%	180.0%	10	10	10
町内福祉委員会等主催回数(回)	17	11	10	212.5%	137.5%	125.0%	8	8	8

≪事業評価≫

平成27年度	地区社会福祉協議会の働きかけにより地域での開催が増加しました。
平成28年度	地区社会福祉協議会の働きかけにより地域での開催が定着し、目標は達成しています。
平成29年度	地域や企業などでの開催を行い、目標は達成しています。
総括	地域での開催の定着に加え、高齢者の生活に関わる企業・団体への開催も行っています。今後も様々な対象に、講座を開催していきます。

事業NO	4－4－1	成年後見制度利用支援事業（市長申立て）
基本計画の位置づけ		4-4　高齢者の権利擁護、虐待防止
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	数値目標なし
成年後見の審判申立件数　（件）	3	0	1	

≪事業評価≫

平成27年度	ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれるため、関係機関と連携を図り、相談に応じていきます。
平成28年度	ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれるため、関係機関と連携を図り、相談に応じていきます。
平成29年度	ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれるため、関係機関と連携を図り、相談に応じていきます。
総括	関係機関と連携を図り、相談に応じてきました。今後は、国が定めた成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ、制度・運用の改善や地域連携ネットワークづくりを行っていきます。

第4章　施策・個別事業

4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－4－2	成年後見支援事業（相談支援、啓発及び法人後見事業）
基本計画の位置づけ		4-4　高齢者の権利擁護、虐待防止
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
成年後見制度講習会の開催(回)	18	14	12	128.6%	100.0%	85.7%	14	14	14

≪事業評価≫

平成27年度	民生児童委員の地区会議や、知的・精神障害者の家族を対象とした勉強会、地域住民を対象とした講演会、在宅医療・介護に携わる方を対象とした研修会で啓発活動を行いました。また第三者後見人の需要の高まりに対応するため、市民後見勉強会を開催しました。参加合計人数は、461人と多くの方へ啓発活動を行うことができました。
平成28年度	民生児童委員の地区会議や、知的・精神障害者の家族を対象とした勉強会、地域住民を対象とした講演会、研修会で啓発活動を行いました。また第三者後見人の需要の高まりに対応するため、市民後見勉強会を開催しました。参加合計人数は、402人と多くの方へ啓発活動を行うことができました。
平成29年度	民生児童委員の地区会議や、知的障害者の家族を対象とした講演会、地域住民や事業所を対象とした研修会で啓発活動を行いました。また第三者後見人の需要の高まりに対応するため、市民後見制度についても講演会のテーマとしました。参加合計人数は、400人と多くの方へ啓発活動を行うことができました。
総括	利用促進法が制定されたので、今後も幅広く周知・啓発活動を展開する必要があります。

事業NO	4－4－3	福祉サービス利用援助事業
基本計画の位置づけ		4-4　高齢者の権利擁護、虐待防止
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
事業講習会の開催(回)	8	8	8	100.0%	100.0%	100.0%	8	8	8

≪事業評価≫

平成27年度	民生児童委員の地区会議で、事業の啓発活動を行いました。
平成28年度	民生児童委員の地区会議で、事業の啓発活動を行いました。
平成29年度	民生児童委員の地区会議で、事業の啓発活動を行いました。
総括	地道に周知啓発を続けることが大切なので、今後も引き続き取り組んでいきます。

第4章　施策・個別事業
4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－4－4	高齢者虐待防止ネットワークの推進
基本計画の位置づけ		4-4　高齢者の権利擁護、虐待防止
担当課		高齢福祉課・社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	
高齢者虐待防止対応件数　（件）	32	30	28	数値目標なし

≪事業評価≫

平成27年度	（高齢福祉課）通報は53件あり、コア会議等で虐待かどうか判断しています。虐待と判断されなかったケースでも継続的な支援をしています。虐待ケースについては市担当者や地域包括支援センター等、関係機関と連携し対応しています。防止や早期発見ができるように民生委員や介護支援専門員に周知しています。 （社会福祉協議会）市高齢福祉課、市内地域包括支援センターを中心に、虐待通報に対応し支援を行いました。 また、広報あんじょう等で虐待防止のための啓発を行いました。
平成28年度	在宅での通報は46件あり、そのうち虐待としての判断は30件。疑いも含め通報があるとコア会議で虐待の有無、緊急性の判断をし、支援計画に基づいて支援を行った後、評価会議を開催しています。虐待と判断されなかったケースでも必要に応じ継続的な支援をし、地域包括支援センター等の関係機関と連携し対応しています。 施設虐待では6施設7件あり、いずれも再発防止・対応改善の指導をしました。 虐待防止や早期発見ができるよう民生委員や介護支援専門員等に周知や広報あんじょう等で虐待防止のための啓発を行っています。
平成29年度	在宅での通報は38件あり、虐待としての判断は28件。疑いも含め通報があるとコア会議で虐待の有無、緊急性の判断をし、支援計画に基づいて支援を行った後、評価会議を開催しています。虐待と判断されなかったケースでも必要に応じ継続的な支援をし、地域包括支援センター等の関係機関と連携し対応しています。 施設虐待の通報は4施設5件あり、いずれも再発防止・対応改善の指導をしました。 虐待防止や早期発見ができるよう民生委員や介護支援専門員等に周知や広報あんじょう等で虐待防止のための啓発を行っています。
総括	今後も地域包括支援センターと連携しながら迅速な対応をしていきます。

事業NO	4－5－1	友愛訪問事業
基本計画の位置づけ		4-5　高齢者孤立防止支援
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
訪問者数（人）	270	247	230	100.0%	88.2%	79.3%	270	280	290

≪事業評価≫

平成27年度	目標は達成しました。老人クラブ会員による高齢者の孤立防止や安否確認のため訪問活動を続けていきます。
平成28年度	訪問者数が減少しました。各老人クラブへのPRを検討する必要があります。
平成29年度	訪問者数が減少しました。継続して各老人クラブへのPRしていきます。
総括	今後も老人クラブと連携しながら啓発を行っていきます。

第4章　施策・個別事業

4　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	4－5－2	福祉電話事業（電話訪問サービス）								
基本計画の位置づけ		4-5　高齢者孤立防止支援								
担当課		高齢福祉課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
利用者数（人）		251	215	190	83.7%	71.7%	63.3%	300	300	300
≪事業評価≫										
平成27年度	窓口、電話による相談件数は増加しました。ひとり暮らし高齢者の孤立防止、安否確認を目的とした複数の事業の中から1事業を選択する形になったため、利用件数は減少しています。									
平成28年度	利用者数が年々減少傾向にあります。利用者の継続、新規利用者を獲得する対応策をを検討する必要があります。									
平成29年度	利用者数が年々減少傾向にあります。利用者の継続、新規利用者を獲得する対応策をを検討する必要があります。									
総括	ひとり暮らし高齢者の孤立防止、安否確認を目的とした複数の事業の中から1事業を選択する形になったため、利用件数は減少しています。新規の利用者を獲得する対策をとる必要があります。									

事業NO	4－5－3	緊急通報装置設置事業								
基本計画の位置づけ		4-5　高齢者孤立防止支援								
担当課		高齢福祉課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
設置台数（台）		368	439	436	99.5%	115.5%	111.8%	370	380	390
≪事業評価≫										
平成27年度	利用件数は変わりません。操作の間違いによる通報が多くありますが、救急搬送につながっている通報も多くあります。									
平成28年度	利用件数は変わりません。操作の間違いによる通報が多くありますが、救急搬送につながっている通報も多くあります。									
平成29年度	利用件数は変わりません。操作の間違いによる通報が多くありますが、救急搬送につながっている通報も多くあります。									
総括	利用者数は増加しており、今後も事業を継続してきます。									

第４章　施策・個別事業
４　安心できる在宅生活支援の充実

事業NO	４－５－４	乳酸菌飲料宅配事業
基本計画の位置づけ		4-5　高齢者孤立防止支援
担当課		社会福祉協議会

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実施状況			計画目標
	H27	H28	H29	数値目標なし
利用者数　（人）	1,698	1,736	1,551	

≪事業評価≫

平成27年度	70歳以上のひとり暮らし高齢者で希望する人に、無料で週3回乳酸菌飲料を宅配し、安否確認を行っています。27年度は315件の安否確認件数の内、1件の死亡発見の事例がありました。
平成28年度	70歳以上のひとり暮らし高齢者で希望する人に、無料で週3回乳酸菌飲料を宅配し、安否確認を行っています。利用者数は増えており、28年度は398件の安否確認を行いました。
平成29年度	70歳以上のひとり暮らし高齢者で希望する人に、無料で週2回乳酸菌飲料を宅配し、安否確認を行いました。29年度は218件の安否確認を行いました。
総括	高齢者の孤立防止支援として実施してきましたが、ひとり暮らし高齢者への見守りは、他のサービスでも充実してきています。

事業NO	４－５－５	高齢者給食サービス事業
基本計画の位置づけ		4-5　高齢者孤立防止支援
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
配食数（食）	77,801	76,097	72,931	98.5%	95.1%	90.0%	79,000	80,000	81,000
特別食（人）	33	44	42	66.0%	80.0%	70.0%	50	55	60
普通食（人）	569	537	517	94.8%	86.6%	80.8%	600	620	640

≪事業評価≫

平成27年度	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は増加しており、実績も年々増加しています。
平成28年度	利用者は減少しましたが、高齢者が増加しているため事業は継続していく必要があります。
平成29年度	利用者は減少しましたが、高齢者が増加しているため事業は継続していく必要があります。
総括	年々、利用者は減少していますが、高齢者が増加しているため事業は継続していく必要があります。

あんジョイプラン７ （第７次安城市高齢者福祉計画・第６期安城市介護保険事業計画）
第４章　施策・個別事業
５　介護保険サービスの充実

事業NO	５－５－１	介護保険・地域包括支援センター運営協議会
基本計画の位置づけ		5-5　サービスの質の向上
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	年3回（8月、1月、3月）開催して、介護保険の運営状況管理や高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理を実施しました。	
平成28年度	年3回(8月、12月、3月）開催して、介護保険の運営状況管理や高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理、地域包括支援センターの運営状況管理を実施しました。	
平成29年度	年2回(8月、3月）開催して、介護保険の運営状況管理や高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理、地域包括支援センターの運営状況管理を実施しました。	
≪事業評価≫		
平成27年度	介護保険の運営状況、高齢者福祉計画の進捗管理を適正に行うことができました。	
平成28年度	介護保険の運営状況、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理を適正に行うことができました。	
平成29年度	介護保険の運営状況、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理を適正に行うことができました。	
総括	介護保険の運営状況や高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理については、高齢者孤立防止支援、安全対策の推進など達成度が低い項目を重点的に議論し、適正に行うことができました。	

事業NO	５－５－２	介護保険事業者連絡調整会議
基本計画の位置づけ		5-5　サービスの質の向上
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	8月、3月の2回開催しました。	
平成28年度	8月、3月の2回開催しました。	
平成29年度	9月、3月の2回開催しました。	
≪事業評価≫		
平成27年度	多くの参加者（参加人数8月：146人、3月：178人、計324人）が集まり開催できました。また、部会組織として施設部会、ヘルパーネット、ケアマネット、安城デイネット、訪問リハネット及びグループホーム部会を開催し、情報提供に努めました。	
平成28年度	多くの参加者（参加人数8月：176人、3月：153人、計329人）が集まり開催できました。また、部会組織として施設部会、ヘルパーネット、ケアマネット、安城デイネット、訪問リハネット及びグループホーム部会を開催し、情報提供に努めました。	
平成29年度	多くの参加者（参加人数9月：163人、3月：181人、計344人）が集まり開催できました。また、部会組織として施設部会、ヘルパーネット、ケアマネット、安城デイネット、訪問リハネット、グループホーム部会及び小規模多機能部会を開催し、情報提供に努めました。	
総括	介護保険制度や保健福祉サービスに関する情報提供等を行う集団指導やサービス事業者間の情報交換の場を提供することにより、適正な事業運営や介護サービスの質の向上を図ることができました。	

第4章　施策・個別事業
5　介護保険サービスの充実

事業NO	5－5－3	ケアプラン指導研修事業
基本計画の位置づけ		5-5　サービスの質の向上
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
ケアプラン指導研修会開催回数(回)	4	3	4	200.0%	150.0%	200.0%	2	2	2

≪事業評価≫

平成27年度	(高齢福祉課)研修会の開催4回、参加者205名 (社会福祉協議会)ケアマネジメントに活かすコミュニケーションの技術(基本編・ステップアップ編)ほか、研修会を4回実施し、延べ205人のケアマネジャーの参加がありました。
平成28年度	「食べる」ためのケアマネジメント、ケアプラン作成に活かす口腔ケアと食のリスク管理研修、総合事業ケアマネジメント研修会に延べ141名のケアマネジャーの参加がありました。 また、在宅医療・介護連携のための研修会において、2回にわたる自立支援をテーマにした多職種ワークショップには45名、その他11回の研修会に延べ232人の参加があり、多職種と知識を共有する機会を提供しました。
平成29年度	介護支援専門員として知っておきたい病気の基礎知識、認知症介護者の理解と支援の研修会に延べ65名のケアマネジャーの参加がありました。また、新たに始まった介護支援専門員養成研修における実習生の受け入れに際し、実習生の受け入れをする事業所を対象に事前事後の勉強会及び振り返りの会を開催しました。そのほかに在宅医療・介護連携推進のための研修会、多職種ワークショップ研修会を開催したところ、延べ315人のケアマネジャーが参加し、多職種と知識を共有したり、連携の課題を検討しました。
総括	ケアマネジメントに必要な基礎知識・技術に加え、多職種との連携を深め、多角的な視点でケアプラン作成ができるように研修会を開催し、ケアマネジャーの資質の向上を図ることができました。

事業NO	5－5－4	地域密着型サービス運営委員会
基本計画の位置づけ		5-5　サービスの質の向上
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

平成27年度	地域密着型サービスの適正な運営の確保を図るため、第三者による委員会を設置。H27年度は2回開催しました。
平成28年度	地域密着型サービスの適正な運営の確保を図るため、第三者による委員会を設置。H28年度は2回開催しました。
平成29年度	地域密着型サービスの適正な運営の確保を図るため、第三者による委員会を設置。H29年度は4回開催しました。

≪事業評価≫

平成27年度	地域密着型サービスの指定及び指定更新について協議を行いました。地域密着型サービス事業者の選考について、認知症対応型共同生活介護2事業者、地域密着型介護老人福祉施設1事業者を承認いただきました。地域密着型特定施設入居者生活介護の募集要綱について承認いただきました。
平成28年度	地域密着型サービスの指定及び指定更新について協議を行いました。地域密着型サービス事業者の選考について、認知症対応型共同生活介護2事業者、地域密着型通所介護2事業者を承認いただきました。
平成29年度	地域密着型サービスの指定及び指定更新について協議を行いました。地域密着型サービス事業所の更新申請の審査方法について協議し、更新申請については報告事項とする旨の承認をいただきました。
総括	地域密着型サービスの事業者指定にあたっては、適正かつ公平な審査を行ったうえで指定及び指定更新ができました。

第4章　施策・個別事業

5　介護保険サービスの充実

事業NO	5－5－5	介護相談員派遣事業
基本計画の位置づけ		5-5　サービスの質の向上
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
相談員派遣回数　（回）	436	425	442	106.3%	101.2%	102.8%	410	420	430
相談者数（人）	4,515	4,619	4,919	137.7%	137.5%	143.0%	3,280	3,360	3,440

≪事業評価≫

平成27年度	事業所の増加に伴い、計画目標を達成できました。今後、事業所の増加に対応し得る体制づくりが必要になります。
平成28年度	介護サービス事業所に相談員を派遣し、相談活動を行うことができました。
平成29年度	介護サービス事業所に相談員を派遣し、相談活動を行うことができました。
総括	事業所増加に対応した相談員派遣ができました。今後も事業所増が見込まれることから安定した事業活動をするため、体制づくりと事業所への事業趣旨等周知をはかる必要があります。

事業NO	5－5－6	介護従事者就労支援事業
基本計画の位置づけ		5-5　サービスの質の向上
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
介護従事者就労支援事業補助金(件)	3	3	2	20.0%	20.0%	13.3%	15	15	15

≪事業評価≫

平成27年度	広報あんじょうでの周知を図りました。実績は横ばいとなりました。
平成28年度	広報あんじょうでの周知を図りました。実績は横ばいとなりました。
平成29年度	広報あんじょうでの周知を図りました。実績は横ばいとなりました。
総括	介護保険サービス事業所における人材確保は依然厳しい状況にありますので、引き続き介護人材の確保を支援するとともに、補助事業が活用しやすくなるよう制度の見直しを検討します。

第4章　施策・個別事業
5　介護保険サービスの充実

事業NO	5－6－1	介護給付費適正化事業
基本計画の位置づけ		5-6　給付費適正化の取組み
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
ケアプランチェック実施事業者数(か所／年)	15	3	4	136.4%	30.0%	36.4%	11	10	11
住宅改修実態調査件数(件／月)	96	96	144	100.0%	100.0%	150.0%	96	96	96

≪事業評価≫

平成27年度	ケアプランチェックは年間15事業者実施しました。今後も引き続き行っていきます。 住宅改修実態調査は、計画通り年間96件実施しました。今後も引き続き行っていきます。
平成28年度	ケアプランチェックは、有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅含む)併設の居宅介護支援事業所に絞って、入居者すべてのケアプラン点検を年間3事業所実施しました。今後も引き続き行っていきます。 住宅改修実態調査は、計画通り年間96件実施しました。今後も引き続き行っていきます。
平成29年度	ケアプランチェックは、有料老人ホーム(サービス付き高齢者向け住宅含む)併設の居宅介護支援事業所に絞って、入居者すべてのケアプラン点検を年間2事業所実施しました。また、市の実地指導と同時に2事業所行いました。来年度も実地指導と同時に行っていきます。 住宅改修実態調査は、年間144件実施しました。今後も引き続き行っていきます。
総括	ケアプランチェックは、適正化の観点から有料老人ホームに絞り行いました。今後は、市内全事業所を3年かけて実施していきます。住宅改修実態調査は計画以上に実施することができました。今後も引き続き行っていきます。

事業NO	5－6－2	介護サービス事業者等への指導・監督
基本計画の位置づけ		5-6　給付費適正化の取組み
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
介護サービス事業者等への実地指導件数　(件)	26	43	29	83.9%	138.7%	93.5%	31	31	31

≪事業評価≫

平成27年度	年度当初に事業者指導計画を作成し、ほぼ計画どおりに実施することができました。 一般指導18件、合同指導8件
平成28年度	年度当初に事業者指導計画を作成し、ほぼ計画どおりに実施することができました。 一般指導25件、合同指導18件
平成29年度	年度当初に事業者指導計画を作成し、ほぼ計画どおりに実施することができました。 一般指導15件、合同指導14件
総括	次期あんジョイプランの策定日程をふまえたうえ計画的な実施ができました。

あんジョイプラン７ （第７次安城市高齢者福祉計画・第６期安城市介護保険事業計画）
第４章 施策・個別事業
６ 安全・安心な生活環境の整備

事業NO	６－１－１	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業
基本計画の位置づけ		6-1 住環境の整備
担当課		高齢福祉課・社会福祉協議会
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	（高齢福祉課）平成17年度に市内で56戸となってから増減はありません。 （社会福祉協議会）県営依佐美住宅に居住する24戸、県営古井住宅に居住する18戸、県営桜井住宅に居住する11戸の高齢者に対して生活援助員を派遣して、生活指導、相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供し、高齢者が安全かつ快適に生活を営むことができるよう努めました。	
平成28年度	（社会福祉協議会）県営依佐美住宅に居住する21戸、県営古井住宅に居住する16戸、県営桜井住宅に居住する10戸の高齢者に対して生活援助員を派遣して、生活指導、相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供し、高齢者が安全かつ快適に生活を営むことができるよう努めました。	
平成29年度	（社会福祉協議会）県営依佐美住宅に居住する22戸、県営古井住宅に居住する18戸、県営桜井住宅に居住する10戸の高齢者に対して生活援助員を派遣して、生活指導、相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供し、高齢者が安全かつ快適に生活を営むことができるよう努めました。	
≪事業評価≫		
平成27年度	（高齢福祉課）居住者の高年齢化が進んでおり、退居理由は施設入所が多くなりました。生活援助員による生活相談、安否確認等の継続は必要です。 （社会福祉協議会）必ず週1回の訪問と電話での安否確認を行い、ケースによっては訪問回数を増やして対応しました。	
平成28年度	（社会福祉協議会）生活援助員が定期的に訪問することで相談役になることがあり、他福祉サービスにつなげたケースを多々ありました。	
平成29年度	（社会福祉協議会）生活援助員が定期的に訪問することで相談役になることがあり、他福祉サービスにつなげたケースが多々ありました。	
総括	地域包括ケアシステムにおける「住まい」の一翼を担う事業のひとつとして、高齢者がいつまでも自立して安全かつ快適に在宅生活を営むことができるよう、事業を継続していきます。	

事業NO	６－１－２	市営住宅高齢者向け住戸改善事業
基本計画の位置づけ		6-1 住環境の整備
担当課		建築課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
住戸改善事業　（戸）	239	267	292	105.8%	111.7%	115.4%	226	239	253

≪事業評価≫	
平成27年度	大山田東住宅12戸、飛越住宅13戸の改善が終了しました。（計画では12戸）
平成28年度	新田住宅C・D棟28戸の改善が終了しました。（計画では13戸）
平成29年度	新田住宅A・B棟25戸の改善が終了しました。（計画では14戸）
総括	当初の計画を上回る整備を実施しました。

第４章　施策・個別事業

６　安全・安心な生活環境の整備

事業NO	６－１－３	高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく各制度の周知
基本計画の位置づけ		6-1　住環境の整備
担当課		高齢福祉課・建築課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	愛知県あんしん賃貸支援事業（高齢者等を受け入れることとして登録された民間賃貸住宅に関する情報提供や、高齢者等の入居をサポートする事業）の情報を市公式ウェブサイトで紹介しました。	
平成28年度	愛知県あんしん賃貸支援事業（高齢者等を受け入れることとして登録された民間賃貸住宅に関する情報提供や、高齢者等の入居をサポートする事業）の情報を市公式ウェブサイトで紹介しました。	
平成29年度	愛知県あんしん賃貸支援事業（高齢者等を受け入れることとして登録された民間賃貸住宅に関する情報提供や、高齢者等の入居をサポートする事業）の情報を市公式ウェブサイトで紹介しました。	
≪事業評価≫		
平成27年度	今後も継続して実施します。	
平成28年度	今後も継続して実施します。	
平成29年度	今後も継続して実施します。	
総括	愛知県あんしん賃貸支援事業情報をウェブサイトにて周知しました。	

事業NO	６－１－４	養護老人ホーム
基本計画の位置づけ		6-1　住環境の整備
担当課		高齢福祉課・社会福祉協議会
≪事業の進捗状況≫		

区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
入所者数　（人）		32	32	31	91.4%	91.4%	88.6%	35	35	35

≪事業評価≫	
平成27年度	目標数は未達成でしたが、適正な保護措置ができています。今後も継続して実施します。
平成28年度	目標数は未達成でしたが、適正な保護措置ができています。今後も継続して実施します。
平成29年度	目標数は未達成でしたが、適正な保護措置ができています。施設については、民間社会福祉法人へ譲渡を行いました。
総括	環境的及び経済的理由により保護措置が必要な高齢者の措置を継続して実施できました。今後は、当面の間、民間社会福祉法人による適切な施設運営及び入所者処遇の向上が図られるよう支援するとともに、継続して適正な保護措置を実施します。

事業NO	６－１－５	生活支援ハウス
基本計画の位置づけ		6-1　住環境の整備
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		

区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
利用者数　（人）		4	6	7	40.0%	60.0%	70.0%	10	10	10

≪事業評価≫	
平成27年度	目標値を達成していませんが、入所後早期に次の住まいが見つかるなど入居中の生活支援ができています。
平成28年度	目標値を達成していませんが、利用期間内にきちんと住環境が整ったり次の住まいが見つかるなどしており、入居中の生活支援ができています。
平成29年度	目標値を達成していませんが、利用期間内にきちんと住環境が整ったり次の住まいが見つかるなどしており、入居中の生活支援ができました。
総括	生活支援が必要である高齢者に一時的な住居を提供し、入居中の生活支援を行うことができましたが、目標値は達成できませんでした。今後は、現施設の廃止を検討し、養護老人ホームにおいて当事業に類する事業の実施を図ります。

第４章　施策・個別事業

６　安全・安心な生活環境の整備

事業NO	６－２－１	ひとにやさしいまちづくりの推進
基本計画の位置づけ		6-2　ひとにやさしいまちづくりの推進
担当課		都市計画課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	新安城駅の自由通路整備について、鉄道事業者と協議を行いました。	
平成28年度	新安城駅の自由通路及び駅舎、南安城駅のバリアフリー化整備について、鉄道事業者と協議を行いました。	
平成29年度	新安城駅の自由通路及び駅舎、南安城駅のバリアフリー化整備について、継続して鉄道事業者と協議を行いました。	
≪事業評価≫		
平成27年度	鉄道事業者との協議により、問題点等の整理をすることができました。	
平成28年度	南安城駅は、概ねの事業実施年度について調整を図ることができました。また、新安城駅については、早期の整備が行えるよう、引き続き協議を重ねていきます。	
平成29年度	新安城駅については、確認書の締結を行い、全体協定の締結に向け準備ができました。南安城駅のバリアフリー化については、平成30年度に整備するようまとまりました。	
総括	今後も鉄道事業者との継続して調整を行い、新安城駅の自由通路及び橋上駅整備等を進めることで、より移動しやすい公共交通空間を創出していきます。	

事業NO	６－２－２	あんくるバス運行事業
基本計画の位置づけ		6-2　ひとにやさしいまちづくりの推進
担当課		都市計画課
≪事業の進捗状況≫		

区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
路線数　（路線）		11	11	11	100.0%	100.0%	100.0%	11	11	11

≪事業評価≫	
平成27年度	11路線での運行を継続して行い、利用は増加しています。H27利用状況：514,884人
平成28年度	11路線での運行を継続して行い、利用者は増加しています。H28利用状況：541,160人
平成29年度	11路線での運行を継続して行い、利用者は増加しています。H29利用状況：586,097人
総括	利用者は、安定して増加しています。今後も利用者ニーズを定期的に把握し、移動しやすい公共交通環境の確保に努めます。

第４章　施策・個別事業

６　安全・安心な生活環境の整備

事業NO	６－２－３	路線バス補助事業
基本計画の位置づけ		6-2　ひとにやさしいまちづくりの推進
担当課		都市計画課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
存続運行路線数　（路線）	2	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	2	2	2

≪事業評価≫

平成27年度	運行事業者への支援を継続して行い、2路線の運行を維持することができました。また、国庫補助を活用し、財政負担の軽減を図っています。
平成28年度	運行事業者への支援を継続して行い、2路線の運行を維持することができました。また、国庫補助を活用し、財政負担の軽減を図っています。
平成29年度	運行事業者への支援を継続して行い、2路線の運行を維持することができました。また、国庫補助を活用し、財政負担の軽減を図っています。
総括	民間バス路線の運行事業者に対して支援を行い、計画目標である2路線の運行を継続することができました。今後も継続して支援し市民の移動手段の確保に努めます。

事業NO	６－３－１	地域ぐるみの防災活動の推進
基本計画の位置づけ		6-3　安全対策の推進（防災・防犯・交通安全）
担当課		危機管理課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
自主防災訓練への参加者数（人）	13,611	14,551	13,595	80.1%	80.8%	71.6%	17,000	18,000	19,000
自主防災訓練の実施率（実施組織／全組織73）　（%）	99	96	93	99.0%	96.0%	93.0%	100	100	100

≪事業評価≫

平成27年度	自主防災訓練については一部実施できなかった地域がありました。今後も全組織で実施するよう働きかけを行い、より多くの人の参加を促し、地域ぐるみの防災活動を推進していきます。また、市総合防災訓練において、自主防災組織が中心となって要援護者に配慮した避難所開設や福祉避難所との連携を取り入れた訓練を実施しました。
平成28年度	自主防災訓練については、各自主防災組織が訓練内容の変更や周知、働きかけを行うことにより参加者数が増加しました。しかし一部の地域で実施できないところがありました。全組織で実施するよう働きかけを行い、地域防災力の強化を図っていきます。また、市総合防災訓練及び自主防災組織支援事業において、自主防災組織が中心となって要援護者に配慮した避難所開設訓練を実施しました。
平成29年度	自主防災訓練の実施を働きかけましたが、実施率及び参加者数ともに昨年度より減少してしまいました。全組織で訓練を実施し、参加者も増加するよう支援していきます。また、市総合防災訓練及び自主防災組織支援事業において、自主防災組織が中心となって要援護者に配慮した避難所開設訓練を実施しました。
総括	自主防災組織によって、防災意識や取り組み状況に差があるため、すべての自主防災組織を一定レベル以上にすることが重要です。今後も引き続き防災意識の向上を促すとともに、防災指導・支援を行う必要があります。

第4章　施策・個別事業

6　安全・安心な生活環境の整備

事業NO	6－3－2	災害時要援護者支援制度の啓発
基本計画の位置づけ		6-3　安全対策の推進（防災・防犯・交通安全）
担当課		社会福祉課・危機管理課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
要援護者支援制度の登録者数(高齢者)　（人）	3,694	3,780	3,881	95.9%	92.2%	90.3%	3,850	4,100	4,300

≪事業評価≫

平成27年度	（社会福祉課）災害時要援護者支援制度の登録者はH27年度末で3,694人でした。登録者は徐々に増加しておりますが、計画目標数値に達することはできませんでした。今後、対象者に対し、制度のPRを行い、登録の促進に繋げていきます。 （危機管理課）制度の利活用の方法について引き続き検討していく必要があります。
平成28年度	災害時要援護者支援制度の登録者は、H28年度末で3,780人でした。昨年と比較し、86人増えていますが、計画目標に達していないため、今後も引き続き、登録の促進を図っていきます。
平成29年度	災害対策基本法に基づき、H30.1.1付で災害時要援護者支援制度から避難行動要支援者支援制度へと要綱改正しました。 改正に伴い、対象者の範囲が広くなったこと、また名簿の作成が義務化されたことから、3月末時点での名簿掲載者数は5,490人と増加しました。そのうち、平常時から民生委員等の支援者へ名簿の情報を提供することに同意を得られたのは3,881人でした。なお、同意をしなかった理由には、家族や入所施設などから別途支援が受けられるケースが多くありました。
総括	この3年間は、町内福祉委員会や民生委員などと連携し、支援制度を進めてきました。 今後も、名簿の更新や支援体制のあり方を検討し、制度の一層の充実を図っていきます。

事業NO	6－3－3	防犯の啓発と防犯体制づくり
基本計画の位置づけ		6-3　安全対策の推進（防災・防犯・交通安全）
担当課		市民安全課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
高齢者対象の防犯教室の参加者数(人)	1342	996	1360	157.9%	110.7%	151.1%	850	900	900

≪事業評価≫

平成27年度	高齢者が被害に遭いやすいオレオレ詐欺などの特殊詐欺を重点的に指導しました。犯罪発生傾向を踏まえた実例紹介と予防策をわかりやすく説明し、犯罪被害減少を図っています。
平成28年度	多発する特殊詐欺と侵入盗を中心に指導しました。犯罪発生傾向をふまえた実例紹介と予防策をわかりやすく説明し、犯罪被害減少を図っています。
平成29年度	平成29年に急増した架空請求詐欺と侵入盗を中心に指導しました。犯罪発生傾向をふまえた実例紹介と予防策をわかりやすく説明し、犯罪被害減少を図っています。
総括	各年度で増加した犯罪の実例と予防策をわかりやすく説明し、犯罪被害減少を図りました。当初の計画目標を上回る受講者の参加がありました。

第4章　施策・個別事業

6　安全・安心な生活環境の整備

事業NO	6－3－4	家具転倒防止器具取付事業								
基本計画の位置づけ		6-3　安全対策の推進（防災・防犯・交通安全）								
担当課		高齢福祉課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
設置世帯数（世帯）		15	11	3	50.0%	36.7%	10.0%	30	30	30
≪事業評価≫										
平成27年度	広報などでPR活動はしていますが、利用件数に大きく変化はありません。									
平成28年度	広報などでPR活動はしていますが、利用件数に大きく変化はありません。器具は、家具を更新するまで有効なため、利用は少ないですが、継続します。									
平成29年度	広報等のPRのほか、総合防災訓練時や家具転倒防止器具に関するイベント時にチラシを配布するなどを行いましたが、利用が減少しています。									
総括	広報等のPRのほか、総合防災訓練時や家具転倒防止器具に関するイベント時にチラシを配布するなどを行いましたが、近年、取り付け家具が増加していること等から、申請件数が減少したと考えられます。高齢者は増えているので、PRに努め、事業は継続していきます。									

事業NO	6－3－5	交通安全シルバーリーダー養成講座								
基本計画の位置づけ		6-3　安全対策の推進（防災・防犯・交通安全）								
担当課		市民安全課								
≪事業の進捗状況≫										
区　　分		実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
		H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
交通安全シルバーリーダー養成講座　参加者数（人）		93	89	85	93.0%	89.0%	85.0%	100	100	100
≪事業評価≫										
平成27年度	養成講座及びフォローアップ講座にあわせて93名のシルバーリーダーの参加がありました。									
平成28年度	養成講座及びフォローアップ講座にあわせて89名のシルバーリーダーの参加がありました。									
平成29年度	養成講座及びフォローアップ講座にあわせて85名のシルバーリーダーの参加がありました。									
総括	参加者数は目標に達しませんでしたが、新たに多くのリーダーを養成することができ、特に高齢者の交通安全に寄与することができました。									

あんジョイプラン7 （第7次安城市高齢者福祉計画・第6期安城市介護保険事業計画）

第4章 施策・個別事業

7 サービス提供体制の整備

事業NO	7－1－1	介護保険制度趣旨普及事業
基本計画の位置づけ		7-1 相談体制、情報提供の充実
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
地区民生委員等への説明会の開催(回)	13	10	11	130.0%	100.0%	110.0%	10	10	10

≪事業評価≫	
平成27年度	広報への掲載、説明会の開催（地区民協勉強会8回）、まちかど講座（5回）を実施しました。
平成28年度	広報への掲載、各種パンフレットの作成、総合事業事業者説明会、まちかど講座等（10回）を実施しました。
平成29年度	広報への掲載、各種パンフレットの作成、まちかど講座等（11回）を実施しました。
総括	毎年、計画目標回数以上に説明会を開催しました。その他にも広報への掲載、各種パンフレットの作成等を通し、介護保険制度の趣旨の普及を図りました。

事業NO	7－1－2	地域包括支援センター（在宅介護支援センター）の取組み
基本計画の位置づけ		7-1 相談体制、情報提供の充実
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度		地域包括支援センターを2か所増やし4か所に、また、それに伴い在宅介護支援センターを2か所閉鎖しました。
平成28年度		地域包括支援センターを2か所増やし6か所に、また、それに伴い在宅介護支援センターを2か所閉鎖しました。
平成29年度		地域包括支援センターを2か所増やし8か所に、また、それに伴い在宅介護支援センターを2か所閉鎖しました。
≪事業評価≫		
平成27年度		全中学校区地域包括支援センターの設置に向け準備しています。
平成28年度		全中学校区地域包括支援センターの設置に向け準備しています。
平成29年度		全中学校区地域包括支援センターの設置ができました。
総括		8地区全地区に地域包括支援センター設置でき市内の相談体制の整備ができました。

事業NO	7－3－1	多職種連携のための人材育成研修
基本計画の位置づけ		7-3 医療と介護の連携拠点機能の充実
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度		医療と介護連携のための研修会を10回、多職種ワークショップ研修会を2回開催しました。
平成28年度		医療と介護連携のための研修会を12回、多職種ワークショップ研修会を2回開催しました。
平成29年度		医療と介護連携のための研修会を14回、多職種ワークショップ研修会を1回開催しました。
≪事業評価≫		
平成27年度		幅広い内容の研修会となっています。今後も継続予定です。
平成28年度		研修会に延べ1,220人の参加者があり、多職種間の意見交換や知識・情報の共有の場になっています。
平成29年度		研修会に延べ1,300人の参加者があり、多職種間の意見交換や知識・情報の共有の場になっています。
総括		多職種が顔を合わせ同じテーマで意見交換をするほか、知識・情報を共有する場として、研修会が有効に活用できていると思われます。

第4章　施策・個別事業
7　サービス提供体制の整備

事業NO	7－3－2	在宅医療に関する普及啓発
基本計画の位置づけ		7-3　医療と介護の連携拠点機能の充実
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	広報あんじょうに地域包括ケアシステムに関する特集記事の中で啓発をしました。在宅医療に関する講演会を2回開催しました。	
平成28年度	在宅医療に関する市民向けの講演会を2回開催しました。また、安城市医師会在宅医療サポートセンターとの協力体制を構築しています。	
平成29年度	在宅医療に関する市民向けの講演会を2回開催しました。また、安城市医師会在宅医療サポートセンターの協力のもと、医師会、安城更生病院、八千代病院、歯科医師会、薬剤師会との協力体制を構築しています。多職種が参加する地域ケア推進会議において在宅医療を普及啓発するための方法を検討し、冊子の作成、劇団が発案されました。在宅医療をわかりやすく伝える「劇団サルビー見守り隊」が発足し活動が開始されました。冊子の内容を地域ケア推進会議で検討しています。	
≪事業評価≫		
平成27年度	普及啓発には長期間を必要としますので、今後も啓発は必要です。	
平成28年度	効果的に啓発するために対象者を絞り、具体的な内容を検討する必要性があります。	
平成29年度	効果的な啓発についての具体的な方法を地域ケア推進会議で検討することができました。	
総括	啓発について、具体的な方法を実践し、効果を評価する必要があります。	

事業NO	7－4－1	介護保険利用者負担額軽減措置事業
基本計画の位置づけ		7-4　利用者本位の仕組みづくり
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
利用者負担軽減措置の利用者数(人)	10	9	9	50.0%	45.0%	45.0%	20	20	20

≪事業評価≫	
平成27年度	対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくのが重要です。
平成28年度	所得が低く、生計が困難な人に対し、在宅サービスを利用したときの自己負担を軽減する事業であり、今後も必要です。
平成29年度	所得が低く、生計が困難な人に対し、在宅サービスを利用したときの自己負担を軽減する事業であり、今後も必要です。
総括	ケアマネージャーから紹介され、申請する利用者も増加しており、引き続き、ケアマネージャーや事業所への周知が重要だと考えます。

第4章　施策・個別事業
7　サービス提供体制の整備

事業NO	7－4－2	障害者ホームヘルプサービス利用者に対する支援措置
基本計画の位置づけ		7-4　利用者本位の仕組みづくり
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	平成27年度において、制度移行措置対象者がいなかったため、実績はありませんでした。	
平成28年度	平成28年度において、制度移行措置対象者がいなかったため、実績はありませんでした。	
平成29年度	平成29年度において、制度移行措置対象者がいなかったため、実績はありませんでした。	
≪事業評価≫		
平成27年度	介護保険制度の円滑な実施を図るための事業であり、障害者施策から移ってきた人が、軽減された負担金で介護サービスを受けられる制度であり、今後も必要です。	
平成28年度	介護保険制度の円滑な実施を図るための事業であり、障害者施策から移ってきた人が、軽減された負担金で介護サービスを受けられる制度であり、今後も必要です。	
平成29年度	介護保険制度の円滑な実施を図るための事業であり、障害者施策から移ってきた人が、軽減された負担金で介護サービスを受けられる制度であり、今後も必要です。	
総括	介護保険制度の円滑な実施を図るための事業であり、障害者施策から移ってきた人が、軽減された負担金で介護サービスを受けられる制度であり、今後も必要です。	

事業NO	7－4－3	社会福祉法人による利用者負担額軽減制度事業
基本計画の位置づけ		7-4　利用者本位の仕組みづくり
担当課		高齢福祉課

≪事業の進捗状況≫

区　分	実績及び計画目標に対する比率						計画目標		
	H27	H28	H29	対計画H27	対計画H28	対計画H29	H27	H28	H29
利用者負担軽減措置の利用者数(人)	25	26	22	100.0%	104.0%	88.0%	25	25	25

≪事業評価≫	
平成27年度	対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくことが重要です。
平成28年度	対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくことが重要です。
平成29年度	対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくことが重要です。
総括	対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくことが重要です。

事業NO	7－4－4	高齢者等実態調査
基本計画の位置づけ		7-4　利用者本位の仕組みづくり
担当課		高齢福祉課
≪事業の進捗状況≫		
平成27年度	平成28年度に実施します。	
平成28年度	平成28年11月から平成29年1月にかけて実施しました。	
平成29年度	平成28年度に実施済みです。	
≪事業評価≫		
平成27年度	平成28年度に実施します。	
平成28年度	平成29年度の計画策定に向けて、一般高齢者、要介護認定者及び第2号被保険者から意見を収集し、計画策定にあたっての課題を把握しました。	
平成29年度	平成28年度に実施した調査を踏まえ、計画を策定しました。	
総括	計画策定を行うにあたり、国が示す日常生活圏域ニーズ及び在宅介護実態調査の内容を一部組み込んで、平成28年11月に調査を実施しました。	